

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成25年9月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要
【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

（「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数）

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から5に増加。「減少した」業種は11から5に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は12から9に減少。「減少した」業種は11から9に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から3に減少。「悪化した」業種は8から12に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は3から6に増加。「減少した」業種は7から8に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から10に増加。「減少した」業種は8のまま変化なし。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は5から8に増加。「悪化した」業種は9から11に増加。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

原材料の15%程度の値上げがあり、年内に売価へ転嫁したい。業界動向は、光熱費等のコストが増えている。これまでは売価を据え置いてきたが、業界をあげて年内の値上げを呼びかけている。

酒類製造

【県内全域】

業務用（飲食店等）販売が高温の影響もあり、低迷。家庭用も低調。コスト増を価格に転嫁できず収益悪化。組合の事業活動は、清酒需要期を控え、PRイベントを10月以降開催。

製材

【木更津】

9月も南用材の入港が1船だけであった。ロシア材の入港なし。入船数は前年同月と変わらないが、各荷主とも在庫を控え、支出の圧縮に取り組んでいる。

印刷

【県内全域】

9月の県内印刷企業受注売上は8月より若干増加しましたが、前年と比較すると減少したままである。組合員各社は8月の夏季休暇に続き、9月も2度に亘る3連休等で稼動日が少なく、漸くプラスに転じた状況である。

電気鍍金

【県内全域】

各種報道等によると、景気上昇等の報道がされているが、当業界での毎月の景況調査を実施しているが、平均の数値は前月よりマイナス8%であった。これから消費税等の3%増で景気の先行きは不透明になってくる。

鉄工

【千葉】

2020年東京オリンピックの開催が決定し、先行きに対する明るさも出始めムードは良くなっている。現状は、着実に好転していると言いつい難い状況にあることから、自律回復に向けた期待感だけが高まっている。

機械部品製造

【野田】

受注が少し上向いてきた状況。政策の影響が少しあるかの様子。

機械部品製造

【流山】

電気料金が高くなり、中小製造業の収益に大きなダメージがあり死活問題である。早急に電気料金が安くなるよう対策を講じてほしい。今の景況で消費税が増税された場合には、影響が大きすぎるので、増税を延期してほしい。

機械部品製造

【柏】

医工連携の動きが各県地域で増えている。

【金属製品製造**【船橋**

お盆休暇により、流れ仕事は低調、連休関連の仕事は多少受注があったものの、総合的に伸び悩み。

【採石**【県内全域**

上半期の実績は前年度比52%で、今後も前年度並みの回復は厳しい。経済の好況について、燃油の値上がりを経営悪化に拍車がかかっている状況である。

【土砂採取**【県内全域**

全体的には、先月比では概ね変わらない。しかし、若干であるが動きのない地域でも、設備操業度が上昇してきたとの報告もある。

非製造業**【総合卸売****【千葉県・東京都**

【鶏卵卸】鶏数調整により価格高騰（最大で30%）業務用は契約で一定の利幅は確保されているが、一般家庭の需要は減少傾向。

【建築材料卸売**【県内全域**

東北と東京が活況を呈しているが、千葉は西部・中央地区の一部に大型物件があるもののその他は回復感はない。戸建・マンションとも9月末の消費税駆け込み契約が想定されるが、実需回復は東京等とかなりの差がある。総体的にはまだら模様といえる。人手が東

北・東京に取られ、千葉は開発決定物件の工事遅延が目立つ。生コン値上は浸透しつつあるが、セメント値上は未だ迫力が無い。現在でも現場人手不足のおり、オリンピック需要に対応できるか懸念の向きもある。

【自動車解体**【県内全域**

廃車発生台数は低いレベルにある。スクラップ単価の上昇は、一段落ち、上げ下げの細かい動きが続いている。

【小売**【茂原**

地方では、アベノミクス効果は以前としてない。都会では好景気とされているようだが、追い風はない。

【小売**【柏**

業種によっては好転の兆しが見えているものもあるが、全体的にはあまり変化は見られない。業界動向は、仕入れ価格の上昇が一部に見られる。

【電気機器小売**【県内全域**

全体として各店の売上にはばらつきがあり、確実に伸びているとは言えないが、雰囲気として好転している感じがする。量販店も売上が伸びずに、苦戦している模様。9月の中旬までエアコンは例年に

なく売れた。

【青果小売**【千葉**

台風、天気等の影響で更に相場が上昇。そのため、販売価格も上がり、数字的には増加した。しかし、収益の面では昨年より悪化した店が増えている。

【中古車仕入・販売**【県内全域**

小売は厳しい状況が続いている。タマ不足の感はあるものの、相場の上昇は見られない。輸出は依然として好調で、外国人バイヤーも増えている。

【小売**【東金**

残暑が続く、秋物の動きが鈍かった。ファッション関連品は、秋物への購買意欲がないため、売上減。食品関係も円安影響での値上げ等の動きがあり、品薄、価格上昇。日用品関連は、目立った新商品もなく低調が続いている。

【小売**【野田**

2020年東京オリンピックの開催が決定し、明るい話題が提供された。この開催がもたらす経済効果が、景気回復への足がかりになることを期待している。

【小売・サービス**【柏**

残暑、天候不順が影響し全体的に売上は伸び悩み、一部飲食で伸

びた店舗が出ているが物販はどれも苦戦を強いられた。

【建設揚重**【県内全域**

前月の稼働率を継続している。

【遊覧船**【鴨川**

徐々に客数は戻ってきているが、未だ震災前の90%にはなっていない。

【一般廃棄物処理**【千葉**

ここ3〜4ヶ月において、前年同月比、前月比共に状況が悪化することがなくなった。上期を終え、今年度は安定した状況であるため下期も引き続き、現状を保つていければと考えている。

【ソフトウエア**【県内全域**

景況感は、回復しているとは言いがけないが悪くはなっていないようである。

【建設**【県内全域**

当連合会加入組合員の受注は、13,896百万円であった。これは前月比でマイナス871百万円の減少。前年同月比では3,084百万円の増加であった。

【輸出入**【県内全域**

景況の変化は、9月は前月比は減少したが、前年同月比は増加し、前年に比較すると少し景況感がよくなった。